



平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社プラップジャパン 上場取引所 東
 コード番号 2449 URL <http://www.prap.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)杉田 敏
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)泉 隆 TEL (03)4580-9111
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	1,082	3.6	108	25.3	112	24.8	10	△77.5
25年8月期第1四半期	1,045	8.6	86	△2.7	90	43.4	48	144.9

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 43百万円(△24.9%) 25年8月期第1四半期 58百万円(57.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年8月期第1四半期	2	70	—	—
25年8月期第1四半期	12	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年8月期第1四半期	4,046		2,565		61.1	
25年8月期	4,194		2,636		61.0	

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 2,471百万円 25年8月期 2,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
25年8月期	—	—	0	00	—	—	27	00	27	00
26年8月期	—	—								
26年8月期(予想)			0	00	—	—	27	00	27	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,342	(2.9)	285	(14.5)	286	(10.3)	141	(△2.1)	35	53
通期	4,994	(3.8)	583	(5.2)	607	(2.8)	311	(△0.8)	77	88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期1Q	4,679,010株	25年8月期	4,679,010株
26年8月期1Q	682,726株	25年8月期	682,726株
26年8月期1Q	3,996,284株	25年8月期1Q	3,996,391株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、現政権の経済対策による円安、株価の上昇など、経済成長、景況感は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながらデフレ脱却には至らず、依然先行きの見方は慎重なままです。

当社におきましては、受注数は昨年と同程度で推移していますが、外資系企業における日本市場での業務や広報予算の見直しなどの影響もあり、年間を通したリテナー契約よりも活動期間を絞り込んだ新製品の発表会やPRイベントなど、単発のプロジェクト契約が増加傾向となりました。

引き合いが多い分野は、IT、ヘルスケア分野などで、金融機関におけるPR活動の問い合わせ等も増加傾向にあります。顧客ニーズは幅広く、従来のPRに加え、戦略立案に重点を置いた活動やソーシャルメディア、ウェブサイトの活用を含めたワンストップのサービスを求められることも多く、グループ全体でナレッジを共有するなど総合力を活かし、受注確度の向上を図っています。

海外連結子会社におきましては、自動車関連の新製品イベント、危機管理トレーニングなどの受注を獲得し、堅調に売上を伸ばしました。ソーシャルを活用したPR施策や既存顧客におけるCSR事業関連のPR活動を実施するなど、新しい分野での実績も積み上げています。また、WeChat「微信(ウェイシン)」を活用したコンサルティングサービスや動画制作サービスなど独自のPRサービスの開発も進め、サービスレベルの向上も図っています。

また、当第1四半期連結累計期間は、前年同期に含まれなかった連結子会社のウィタンアソシエーツ株式会社の売上高が連結業績に寄与している一方で、当社の創業者で元代表取締役会長の故矢島尚の在任中の労に報いるため、役員退職慰労金の功績加算分35百万円などを特別損失として計上しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,082百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益は108百万円(前年同四半期比25.3%増)、経常利益は112百万円(前年同四半期比24.8%増)、四半期純利益は10百万円(前年同四半期比77.5%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の主なクライアントとして、新規リテナークライアントは、化学メーカー、インターネットサービス、製薬、電気通信産業、オンラインゲームなどの企業を獲得しました。また、新規および既存顧客のプロジェクト業務としては、消費財メーカー、化粧品、電機メーカー、食品メーカー、製薬、自動車などの企業を多数獲得しています。

イベント制作関連では、外食産業のCM発表会、自動車関連の企業を獲得するほか、継続的にタイヤメーカーの社内報制作を担当するなど、クリエイティブワークの企画、制作も受注しています。

(注) 前期に区分掲載していた「部門別概況」ですが、クリエイティブサービス部門の会社全体に対する実績が減少し重要性がなくなったため、当期より部門別概況の説明は省略しております。

当第1四半期連結累計期間における主な勘定科目等の増減の状況は次のとおりです。

(売上高)

当第1四半期連結累計期間において売上高は1,082百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ37百万円(3.6%)の増収となりました。

これは、当社単体の売上高は84百万円(△11.4%)の減収となったことに加え、既存の連結子会社3社についても減収となりました。しかしながら、残りの中国子会社1社において大型イベントを受注し業績が好調だったことにより増収となったことに加え、前第2四半期連結会計期間より連結子会社化されたウィタンアソシエーツ株式会社の売上高が貢献したことによるものです。

(営業利益)

営業利益は、108百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ21百万円(25.3%)の増益となりました。これは、外注費及び媒体費等の売上原価が前年同四半期連結累計期間に比べ6百万円(0.9%)増加したことや、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間に比べ8百万円(4.3%)増加したものの、

売上高が前年同四半期連結累計期間より37百万円(3.6%)の増収となったことによるものです。

(経常利益)

経常利益は、112百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ22百万円(24.8%)の増益となりました。営業利益が21百万円(25.3%)の増益となったことによるものです。

(四半期純利益)

四半期純利益は、10百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ37百万円(△77.5%)の減益となりました。これは、経常利益が22百万円(24.8%)の増益となったものの、前年同四半期連結累計期間に計上されなかった特別損失の役員退職慰労金35百万円などが当第1四半期連結累計期間では計上されたことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,299百万円と前連結会計年度末に比べ159百万円の減少となりました。これは、たな卸資産68百万円が増加したものの、債権回収に伴う受取手形及び売掛金が245百万円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、746百万円と前連結会計年度末に比べ10百万円の増加となりました。これは、差入保証金が5百万円減少したものの、長期性預金が20百万円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,178百万円と前連結会計年度末に比べ93百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金118百万円、未払法人税等80百万円が減少したものの、未払金203百万円、未成業務受入金58百万円、賞与引当金52百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、302百万円と前連結会計年度末に比べ170百万円の減少となりました。これは、主に退職給付引当金が1百万円増加したものの、役員退職慰労引当金172百万円が減少したことが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,565百万円と前連結会計年度末に比べ71百万円の減少となりました。これは、少数株主持分が16百万円増加したものの、配当金107百万円の剰余金処分により、利益剰余金が97百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しております。現時点において平成25年10月11日に公表した「平成25年8月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,301	2,300
受取手形及び売掛金	894	649
有価証券	21	22
たな卸資産	126	195
繰延税金資産	78	77
その他	38	57
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	3,458	3,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81	78
その他(純額)	23	22
有形固定資産合計	105	101
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウェア	10	9
のれん	30	26
無形固定資産合計	41	36
投資その他の資産		
投資有価証券	110	119
差入保証金	264	258
繰延税金資産	189	186
その他	24	43
投資その他の資産合計	589	608
固定資産合計	736	746
資産合計	4,194	4,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	475	356
未払法人税等	139	58
未成業務受入金	79	138
賞与引当金	63	116
その他	327	508
流動負債合計	1,085	1,178
固定負債		
退職給付引当金	138	140
役員退職慰労引当金	333	161
その他	0	0
固定負債合計	473	302
負債合計	1,558	1,480

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	374	374
利益剰余金	2,148	2,051
自己株式	△434	△434
株主資本合計	2,559	2,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△10
為替換算調整勘定	17	19
その他の包括利益累計額合計	0	9
少数株主持分	77	93
純資産合計	2,636	2,565
負債純資産合計	4,194	4,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	1,045	1,082
売上原価	758	764
売上総利益	287	318
販売費及び一般管理費	200	209
営業利益	86	108
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	—
為替差益	2	3
その他	0	0
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
出資金運用損	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	90	112
特別損失		
有形固定資産除却損	0	0
役員退職慰労金	—	35
訴訟関連損失	—	10
特別損失合計	0	45
税金等調整前四半期純利益	90	67
法人税、住民税及び事業税	37	34
法人税等合計	37	34
少数株主損益調整前四半期純利益	52	32
少数株主利益	4	21
四半期純利益	48	10

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52	32
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	6
為替換算調整勘定	△3	4
その他の包括利益合計	5	11
四半期包括利益	58	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	20
少数株主に係る四半期包括利益	2	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。